

令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

<b>事業名</b>	BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業			<b>担当部局庁</b>	住宅局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	令和2年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和4年度	<b>担当課室</b>	建築指導課	課長 深井 敦夫			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>				<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	建築分野における生産性向上や働き方改革、国際競争力の強化等を図るため、BIMを活用するための市場環境を整備することを目的とする。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	官民が一体となって建築分野でのBIMの推進を図る目的で設置した「建築BIM推進会議」(令和元年6月設置)における、BIMの標準ワークフローとその活用方策に関する議論の成果をとりまとめたガイドライン第1版(令和2年3月末策定)を、建築プロジェクトに試行的に活用し、定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の報告を行う事業に対し、その検証費用の支援を行う。								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	196	200			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	196	200	0		
	執行額				188				
	執行率(%)		-	-	96%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	96%				
<b>令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	(項)住宅市場整備推進費								
	(事項)住宅市場の環境整備の推進に必要な経費								
	(目)住宅市場整備推進等事業費補助金	200							
	計	200	0						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績						
			目標値						
			達成度	%					
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>									

成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック			
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
	本事業は、建築BIM推進会議において、実用を想定した標準ワークフロー等を取りまとめるために、議論の成果を建築プロジェクトに試行的に活用し、検証を行うものであるため。	本事業の結果を活用し、建築BIM推進会議において実用を想定した標準ワークフロー等を令和4年度までにとりまとめる。	様々な関係者や契約の実情に応じた標準ワークフローのとりまとめ	実績						
				目標値						
			達成度	%						
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	支援件数(本事業で支援する建築プロジェクト数)			活動実績			8	8		
				当初見込み			8	8		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	X:実績額(百万円)÷Y:支援件数(件)			単位当たりコスト	百万円/件		22	25		
				計算式	X/Y		196/8	200/8		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	1. 少子・高齢化等に対応した住生活の安定の確保及び向上の促進							
		施策	2. 住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する							
	新経済・財政再生計画改革工程表(2020)	KPI(第二階層)		単位	計画開始年度	2年度	3年度	中間目標年度	目標最終年度	
				成果実績						
				目標値						
			達成度	%						
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	人口減少、高齢化が進む中、他分野と同様、建築分野における生産性向上は喫緊の課題である。このため、BIMの活用を促進するとともに、効率的に活用されるための市場環境を整備することは、社会的な課題である建築分野の生産性の向上に直結するものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定)及び成長戦略フォローアップ(令和元年6月21日、令和2年7月17日閣議決定)において、次世代インフラの生産性向上に係る具体的施策としてBIMの活用促進が挙げられている。特に建築生産の分野横断的な課題が多くあることから、国が主導して戦略的に検討を進め、早急に市場環境を整備する必要がある。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	官民で検討を進める建築BIM推進会議と連携し、本事業の成果に基づきBIMの活用促進について戦略的に検討を進めている。人口減少、高齢化が進む中、建築分野における生産性向上は喫緊の課題であり、本事業による試行検証は成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日閣議決定)に挙げられた優先度の高いものである。					

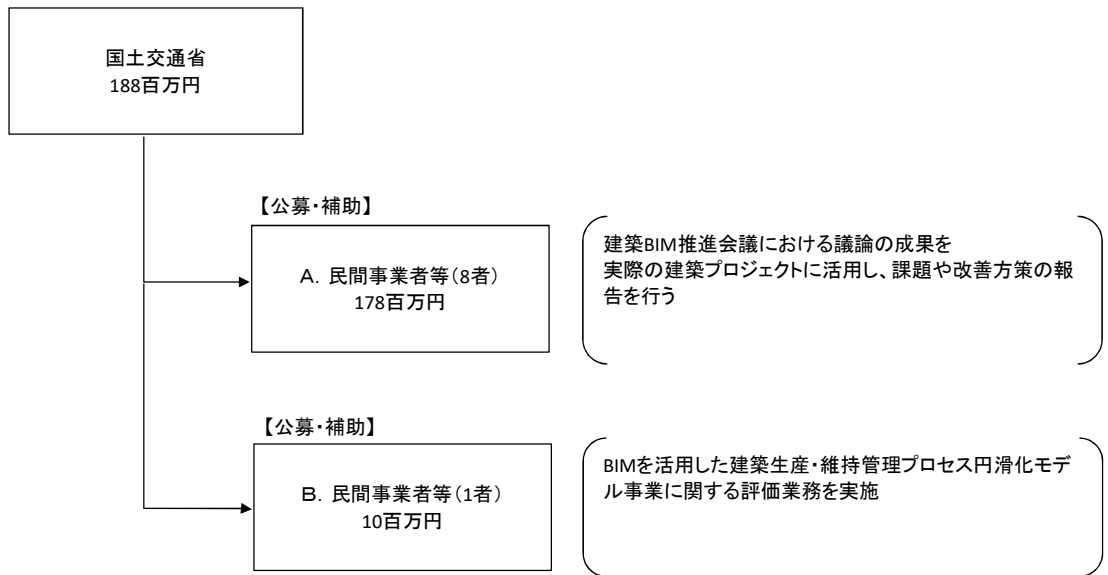
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	公募により複数の提案の中から事業者を選定しており、令和2年度は40件の提案があった。その審査では事業の波及性及び先駆性や、事業を的確に遂行する技術能力、経理・事務の管理体制及び費目・用途の妥当性について確認している。また、学識経験者からなる評価委員会の評価も経たうで事業者を選定している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	必要な検証事項を精査し、当該検証に要する費用を支援しており、受益者との負担関係は適切である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	前年度の執行状況を考慮し、事業者ごとの補助額を決定している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	選定及び契約に係る審査の中で、事業の内容に応じた費目・用途の妥当性について確認している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	様々な用途、規模等の建築物で検証がされており、建築BIM推進会議との連携により、その成果物は実用に耐える標準ワークフロー等の検討に大きく寄与している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込み通りの活動実績である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	令和2年度の検証の成果物について広く公開し、周知するとともに、その検証結果に基づき建築BIM推進会議と連携して標準ワークフロー等の検討を進めている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	事業趣旨に基づき、的確に公募を行い、多くの提案から必要な事業を選定し、検証を実施している。また、検証の成果物を広く公開し、周知するとともに、その検証結果に基づき、建築BIM推進会議と連携して標準ワークフロー等の検討を進めている。		
	改善の方向性	多くの提案を適切に審査し、その中から必要な事業を選定するため、審査体制の強化を図り、成果目標を着実に達成する。		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度	国土交通省 - 新02 - 0002		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社日建設計			B. 株式会社市浦ハウジング&プランニング			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	補助事業実施のための人件費		26	人件費	補助事業の評価業務実施のための人件費	8	
旅費	BIMを活用した現場へのヒアリングにかかる旅費		1	旅費	打ち合わせにかかる旅費	0	
庁費	BIMモデル作成にかかるデータ入力等(株式会社あい設計 他)		13	庁費	評価委員会委員への報償費、委託料、使用料及び賃借料等	2	
計			40	計		10	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載							チェック

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日建設計	9010001006111	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	40	補助金等交付	40	--	
2	新菱冷熱工業株式会社	8011101010326	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	30	補助金等交付	40	--	
3	前田建設工業株式会社	4010001008789	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	29	補助金等交付	40	--	
4	株式会社久米設計	3010601021886	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	23	補助金等交付	40	--	
5	東京オペラシティビル株式会社	9011101014862	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	20	補助金等交付	40	--	
6	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社	6010001099364	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	20	補助金等交付	40	--	
7	株式会社安井建築設計事務所	5120001091146	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	13	補助金等交付	40	--	
8	株式会社竹中工務店	3120001077469	建築プロジェクトにBIMを試行的に活用し、BIM導入による定量的なメリットや具体的な課題、改善方策等の検証を行う	2	補助金等交付	40	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社市浦ハウジング&プランニング	4010001000696	補助事業の取組に関する評価業務、取りまとめを実施	10	補助金等交付	2	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック